様式２－１（指定管理料施設用）

管理運営状況評価書 【対象年度：平成２１年度】

課名　　社会教育課

施設名	掛川海洋センター体育館・艇庫
条例名	掛川市海洋センター条例
施設設置目的	スポーツの振興及び青少年の健全育成を図る
指定管理者名	ＮＰＯ法人 掛川市体育協会
指定期間	平成18年４月１日から平成23年３月31日まで
自主事業の有無	有り
指定事業の有無	無し
指定管理料・利用料金制の別	指定管理料

決算状況等（単位：千円）		H17	H18	H19	H20	H21	備考
	指定管理料（A）	8,958	6,950	8,012	8,838	14,668	詳細様式2-2
	施設利用料（B）	770	899	1,109	1,060	1,093	
	差引（B－A）	△ 8,188	△ 6,051	△ 6,903	△ 7,778	△ 13,575	

事業報告書	有り（法第244条の２第７項による義務付け）
利用者満足度調査等実施の有無	無し

評価	評価内容	結　　果	改　善　策
	1　施設運営目的の達成度	各種競技団体の利用に依存傾向が見られるが、施設設置目的に合致した形で運営が行われている。	施設運営上の問題点は特に見つからない。
	2　利用者満足度	平成17年度の施設利用者数14,358人、平成19～21年度の平均は18,978人と増加傾向が見られる。 隣接する総合体育館との一体性（サブアリーナ化）をすすめ、大規模大会の開催を容易にし、稼働率を高め競技者団体の満足度は高い。 平成21年度から正式に管理を委託した艇庫についても、利用者数は倍増している	施設横断的な利用調整により、幅広い利用者需要に適切に対応し満足度は高いものと思われるが、市南部地域（旧大東・大須賀町域）施設までを含めた利用状況を適切に把握し、運営することでより満足度は高まるものである。
	3　効率的な運営	全施設を単一事業者により指定管理をおこなっているため、施設横断的な利用調整を可能とし、職員配置も利用状況に応じて柔軟に対応している。 指定管理料は平成21年度に6,000千円程度（1.5人工）の増加があるが、艇庫管理に伴う有資格者の配置が必要ななったためであり、相対的に管理経費の節減努力がみられる。	
	4　その他の課題等		

様式２－２（指定管理料施設用）

掛川海洋センター体育館・艇庫

＜指定管理料内訳（Ａ）＞　　（単位：円）

区　　分		Ｈ１９決算	Ｈ２０決算	Ｈ２１決算	備　　考
人　件　費		4,139,000	4,108,000	8,623,000	
委　託　料		2,322,584	1,710,598	1,509,281	
	設備点検委託	1,068,900	980,700	980,700	
	建物警備保障	277,200	277,200	277,200	
	公園樹木遊具管理	934,904	383,398	185,850	清掃を含む
	その他	41,580	69,300	65,531	船外機･浄化槽 保守点検等
印　刷　費		110,694	110,558	283,191	事務用品費を含む
通　信　費		87,832	130,295	186,751	
修　繕　費		59,955	227,585	286,690	
施設消耗品費		53,005	490,473	679,677	
借　上　料		201,000	212,589	247,479	
光　熱　水　費		397,086	397,353	642,987	
燃　料　費		89,734	83,544	78,405	
保　険　料		16,850	24,560	37,010	
諸　経　費		499,000	447,000	836,500	租税公課･一般管理費
そ　の　他		35,010	856,445	1,257,029	旅費･支払手数料 図書費等
合　　計		8,011,750	8,799,000	14,668,000	

＜施設利用料（Ｂ）＞　　（単位：円）

区　　分	Ｈ１９決算	Ｈ２０決算	Ｈ２１決算	備　　考
施設利用料収入	1,109,325	1,059,700	1,092,825	掛川市へ収入

＜施設利用者数＞　　（単位：人）

区　　分	Ｈ１９決算	Ｈ２０決算	Ｈ２１決算	備　　考
施設利用者数	21,273	15,505	17,893	